
丹沢表尾根縦走：丹沢山-鍋割山

◆日程 2015年12月1日(火)～2日(水)

◆メンバー L：渡辺、大村

12月1日(火) 天候：晴れ

秦野駅からヤビツ峠行きのバスが臨時で出たので、予定より早く出発することができた。この時期の平日で予定より早く臨時バスが出ることに驚きである。ヤビツ峠は、12月にしては、丹沢の山開きの時より温かく感じるぐらいであった。バス停の脇のモミジは真っ赤に紅葉して綺麗であった。

二の塔までの登りは、体が慣れていないこともありかなりきつかった。三の塔からは、富士山や南アルプスが見えてなんだか得した気分になった。新大日茶屋に着いたところには、曇り空になってしまい少し肌寒くなってきた。木ノ又小屋ではコーヒーでも飲もうかと話していたが閉まっていた。

塔ノ岳山頂では、平日にも関わらず20名以上はいたと思われる。寒いので少しだけ休憩をとり丹沢山に向かった。日高からは、表尾根とは全く雰囲気が変わり、ブナの大木の林が続き、竜ヶ馬場あたりは、笹の原っぱで眺めがよい。江の島やランドマークなどがぼんやり見えて、気持ちが良い所である。

丹沢山山頂は広く、隅っこに本日宿泊するみやま山荘がる。小さな山荘だが、まだ新しく綺麗である。一階の入り口で会計を済ませると、10名程座れる土間があり、そのわきにテーブルを3方囲むように6つ椅子が置いてあるホールがある。(ちなみに2日目に気がついたのだが、テレビが置いてあるのだが、データ放送は観られない。)寝室は2階で、半分ロフトになっている。

夕食まで時間があるので、2階は飲食禁止なので、1階のロビーで一杯始めた。軽く一杯のつもりがいつの間にか本格的になってしまった。夕食は割合豪華で、味付けも良くおいしくいただけた。小さい山荘なので食堂は20名も入れれば一杯の広さだが、本日の宿泊客は14名なので余裕であった。一緒のテーブルは6名、八王子・戸塚・埼玉・？在住の方々と我々2名である。我々以外はソロであった。そこそこ山の話で盛り上がり、戸塚から来た人は戦争経験者で、空襲の話もしていた。就寝時間の8時半なり寝床についた。山荘の中は温かく、毛布と掛け布団だけで心地よく眠れた。

CT：秦野駅8：00 発バスーヤビツ峠8：45 着ー寺山富士見橋9：23 着

ー二の塔10：35 着ー三の塔10：55 着ー烏尾山11：30 着

ー行者岳12：00 着ー新大日茶屋13：00 着ー木ノ又小屋13：10 着

ー塔の岳13：40 着ー竜ヶ馬場14：40 着ー丹沢山15：10 着

12月2日(水) 天候：曇り

朝食は炊き込みご飯とみそ汁・漬物程度の質素ではあったが炊き込みご飯がとても美味しかった。朝食後は、テレビで天気を確認したがあまり詳しい情報を得ることができなかったが横浜の降水確率50%。私のスマホは圏外なので、スマホからの情報も得ることができなかった。今回が予定を変更して蛭ヶ岳を諦め下山することにした。

下山は時間的に余裕があるので、鍋割山経路を選択した。時間は掛かるが、大倉尾根よりは景色も良く、変化に富んでいて楽しいコースである。ただし西山林道は長い。季節によっては、

気持ちよい散策コースかもしれないが、ここらに来ると、早く大倉バス停に着きたいとしか頭の中を過らない。

大倉バス停着き、どんぐりハウスにて、みやま山荘で注文したお弁当（¥1000）を食べた。山荘の方にお弁当を注文するなら、途中の山小屋で何か食べた方が良いのでと忠告を受けたが、みやま山荘の弁当はいかなる物か興味があった。答えは、鍋割山荘で鍋割うどんを食べた方が良かったと思う。

CT：丹沢山 7：00 発—塔の岳 8：20 着—小丸尾根 分岐 9：05 着
—鍋割山荘 9：40 着—大倉バス停 12：45 着

(記：大村)